



問合せ先

第八管区海上保安本部
広報・地域連携室 大戸・田中・坪内
TEL 0773-76-4100
(内線 2111・2117・2118)

平成 30 年 11 月 29 日
第八管区海上保安本部

平成30年8管トピックスTOP10 ～アンケートにご協力ください～

第八管区海上保安本部では、この一年間に管内で起きた主な出来事（8管トピックス）の中から印象に残っているものについて、一般の皆様を対象にアンケート調査を行い、上位10項目の出来事を「8管トピックスTOP10」として取りまとめます。

- 1 アンケート募集期間
平成30年11月29日(木)から12月10日(月)までの間
- 2 アンケート募集方法
 - (1)インターネットによる方法
第八管区海上保安本部のホームページから応募できます。
 - (2)アンケート用紙による方法
第八管区管内の各所にアンケートコーナーを設置します。
(別添1参照)
- 3 「8管トピックスTOP10」アンケート項目(投票は、1人10個以内)
23項目を選定しています。(別添2参照)
- 4 結果発表
アンケート結果集計後、12月下旬に発表予定です。
- 5 その他
アンケートにご協力いただいた一般の方の中から、
抽選で海上保安庁オリジナルグッズをプレゼントします。



アンケート実施の様子

報道関係の皆様方にもアンケートにご参加いただきたくお願い申し上げます。
別添3「アンケート用紙」の23項目の中から、皆様が印象に残るトピックスを10個以内でお選びいただき、アンケート用紙の回答欄に 印のご記入うえ、【平成30年12月10日(月)】までに下記送付先にFAXにてお送りいただきますようお願い致します。
できるだけたくさんの報道関係の方々にご協力いただけると幸いです。
【FAX送付先】 0773 - 76 - 4103(第八管区海上保安本部 総務課)

「8管トピックスTOP10」アンケート ホームページアドレス

第八管区海上保安本部ホームページ
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/08kanku/>



平成30年「8管トピックスTOP10」アンケートコーナー設置箇所

福井県	敦賀海上保安部
	小浜海上保安署
	福井海上保安署
	新日本海フェリー敦賀フェリーターミナル
	敦賀市立図書館
	若狭フィッシャーマンズ・ワーフ
	福井港湾事務所
京都府	舞鶴港湾合同庁舎
	舞鶴海上保安部
	宮津海上保安署
	舞鶴観光ステーション(西舞鶴駅)
	東舞鶴駅観光案内所
	舞鶴赤れんがパーク
	舞鶴市役所
兵庫県	香住海上保安署
鳥取県	境海上保安部
	鳥取海上保安署
	美保航空基地
	鳥取港湾事務所
	地場産プラザわったいな
	境港市民図書館
	JR余子(あまりこ)駅
	米子鬼太郎空港ビル
島根県	浜田海上保安部
	隠岐海上保安署
	浜田市立中央図書館
	浜田市役所
	道の駅ゆうひパーク浜田

平成30年「8管トップピックスTOP10」アンケート

1 日本海に木造船が漂流・漂着

日本海の沖合や沿岸に木造船が漂流・漂着しました。八管区の海域では、平成30年1月から舞鶴、福井、香住、隠岐北方海域の各地で確認されました。



2 美保航空基地創設40周年

平成30年2月に美保航空基地創設40周年を迎えました。昭和53年に創設されて以降、八管区唯一の航空基地として、様々な任務を行ってきました。



3 福井県嶺北を中心に豪雪被害

平成30年2月、発達した低気圧が福井県を中心に記録的な大雪をもたらし、福井市では昭和56年の豪雪以来37年振りに積雪が140センチを超えました。八管区でも、本部、敦賀保安部に大雪災害対策室を設置しました。



4 八管カードを作製

平成30年3月、海上保安制度創設70周年を記念し、八管カードを作製しました。各地イベントでの配布、プレゼント企画などを実施し、海上保安思想の普及に繋がりました。



5 舞鶴市金ヶ岬沖合で釣人2名が行方不明

平成30年5月3日、京都府舞鶴市金ヶ岬の沖合で小型船舶が転覆、2名が行方不明となる事案が発生しました。舞鶴保安部、宮津保安署所属の巡視船艇及び当庁航空機並びに京都府警地域部機動警ら課沿岸警ら隊舞鶴隊等と連携して行方不明者の捜索にあたりました。



6 捜査活動協力者に対する感謝状贈呈

平成30年2月に発生したフェリー船内における大麻不法所持の捜査に協力したとして、平成30年6月28日、新日本フェリー及びフェリーあかしあ乗組員に第八管区海上保安本部長から感謝状を贈呈しました。



7 海上保安制度創設70周年記念式典を挙行政

平成30年6月24日、海上保安制度創設70周年記念式典が挙行政され、巡視船おきを舞鶴市で初めて一般公開しました。



8 八管区初の試みとなる警備セミナーを開催

平成30年7月26日、旅客船内における暴漢等への対処に備えた旅客航路事業者による自主警備のレベルアップを目的として、八管区で初めてとなる「旅客航路事業者による自主警備に係るセミナー」を実施しました。



9 八管内各地で非常投浮が普及

八管区では漁具を応用した海中転落者の救命具として有効な非常投浮の普及活動に努め、実際の海難現場でも活用されています。



10 京都府、兵庫県北部、鳥取県に大雨特別警報が発表

平成30年7月6日、京都府、兵庫県北部、鳥取県に大雨特別警報が発表され、各地で被害が発生しました。当管区の所属巡視艇、航空機等も対応にあたりました。



11 美保航空基地機動救難士の累計出動件数1000件を達成

平成30年8月7日をもって美保航空基地機動救難士の累計出動件数が1000件を達成しました。機動救難士は平成16年4月に配置されて以降、様々な現場で活躍しています。



12 夏休み期間中の管内在住児童・生徒の事故ゼロ

管内各海上保安部署において、教育委員会を通じて小中高生に対する水難事故防止の啓発等を行ったところ、今年度の夏休み期間中の八管内在住小中高生の事故はゼロでした。



13 巡視船いさづ配属

平成30年9月4日、舞鶴海上保安部に巡視船いさづが配属されました。いさづは海上保安学校学生への実習を主な任務としています。



14 台風が相次ぎ上陸

平成30年7月から10月にかけて、台風が相次ぎ上陸しました。管内でもコンテナの流出や貨物船が定置網に乗り揚げる等影響が出ました。



15 八管区で安全推進マリーナ認定制度の創設及び第一号認定

平成30年9月、安全推進マリーナ認定制度を創設し、福井県高浜町在住の青戸マリーナが第一号として認定されました。



16 福井しあわせ国体における海上警備の実施

平成30年10月に開催された、福井しあわせ国体においてセーリング、トライアスロン会場となった海域の警備実施にあたりました。



17 NOWPAP油防除合同訓練を実施

平成30年10月3日、ロシア救助船「IRBIS」ほか、関係機関と連携し、日本では8年ぶり、舞鶴沖では初となるNOWPAP油防除合同訓練を実施しました。



18 平成最後のJCGフェスタを開催

平成30年10月20日、舞鶴港内外にて平成最後となるJCGフェスタを開催しました。巡視船だいせんによる体験航海、関係機関との展示訓練等を実施し、1248名の方々に海上保安思想の普及・地域住民等に対する当庁業務への理解の促進を図ることができました。



19 灯台150周年記念式典

平成30年11月3日、灯台150周年記念式典及び祝賀会を開催しました。式典では、多年にわたり灯台等の灯火を監視していただいた「灯火監視協力者」に対し、本部長から感謝状を贈呈しました。



20 未来に残そう青い海受賞作品が決定

今年で19回目の「未来に残そう青い海・図画コンクール」を開催しました。第八管区海上保安本部に1199点の色とりどりの作品が集まりました。海上保安庁における審査会において、当管区高学年の部の作品が海上保安協会会長賞を受賞しました。



21 八管区警備救難競技大会を開催

海上保安官が警備救難業務を遂行するために必要な技能の維持・向上を目的として「制圧」・「けん銃」・「人命救助」の3部門の競技会が3年ぶりに開催されました。



22 灯台動画が完成

第八管区海上保安本部では、日本海沿岸に立つ4箇所の灯台動画（越前岬灯台、美保関灯台、立石岬灯台、出雲日御碕灯台）を作成しました。

ドローン（小型無人航空機）を使用した空撮映像を中心に、灯台の歴史や役割を短くまとめた動画で、普段見ることの出来ない灯台内部の映像が見れる動画が完成しました。



23 さざえ・あわび等の密漁者、本年も多数検挙

例年、夏季に多くの沿岸密漁が横行し、関係機関と連携して取締りを強化する中、本年も悪質密漁者3名の逮捕を含め、密漁者186名の検挙がありました。（11/20現在）



平成30年「8管トピックスTOP10」アンケート

下記項目の中から皆様が印象に残る項目を10個以内でお選びいただき、回答欄に 印のご記入をお願いします。
 できるだけ皆さんの報道関係の方にご協力いただけると幸いです。
 アンケート用紙はFAXにて【平成30年12月10日(月)】までにお送りいただきますようお願い致します。
 <FAX番号 0773-76-4103(第八管区海上保安本部 総務課)>

番号	項目	回答
1	日本海に木造船が漂流・漂着	
2	美保航空基地創設40周年	
3	福井県嶺北を中心に豪雪被害	
4	八管カードを作製	
5	舞鶴市金ヶ岬沖合で釣り人2名が行方不明	
6	捜査活動協力者に対する表彰状授与	
7	海上保安制度創設70周年記念式典を挙行	
8	八管区初の試みとなる警備セミナーを開催	
9	八管内各地で非常投浮が普及	
10	京都府、兵庫県北部、鳥取県に大雨特別警報が発令	
11	美保基地機動救難士の出動が1000件を達成	
12	夏休み期間中の管内在住児童・生徒の事故ゼロ	
13	巡視船いさづ配属	
14	台風が相次ぎ上陸	
15	八管区で安全推進マリーナ認定制度の創設及び第一号認定	
16	福井しあわせ国体における海上警備の実施	
17	NOWPAP油防除合同訓練を実施	
18	平成最後のJCGフェスタを開催	
19	灯台150周年記念	
20	未来に残そう青い海受賞作品が決定	
21	八管区警備救難競技大会を開催	
22	灯台動画が完成	
23	さざえ・あわび等の密漁者、本年も多数検挙	

ご協力ありがとうございました。





問合せ先

第八管区海上保安本部
 広報・地域連携室 大戸・田中
 TEL 0773-76-4100 (内線 2111・2117)

平成30年11月29日
 第八管区海上保安本部

年末年始もご安全に ~ 年末年始特別警戒・安全指導 ~

年末年始の輸送繁忙時期における安全確保のため、平成30年12月10日から平成31年1月10日までの間（重点期間：平成30年12月21日～平成31年1月4日）、年末年始特別警戒及び安全指導を実施します。同期間中、管内各部署において旅客船、カーフェリー及び旅客ターミナルの警戒や、事業者等に安全運航の指導を実施することにより、テロ及び犯罪の未然防止、船舶交通の安全確保に努めます。

1. 実施期間

平成30年12月10日(月)から平成31年1月10日(木)まで
 (重点期間:平成30年12月21日(金)から平成31年1月4日(金)まで)

2. 重点対象

- ・ 旅客船
- ・ カーフェリー
- ・ 遊漁船
- ・ 海上タクシー等
- ・ 漁船
- ・ 旅客ターミナル



3. 指導事項・警戒事項

(1) 指導事項

- 事件・事故発生時の当庁への通報体制確保
- 不審物・不審者への警戒の徹底
- 安全運航の徹底
- (見張りの徹底、ライフジャケットの着用、連絡手段の確保など)
- 乗船者の海中転落防止対策の徹底
- 降雪・荒天時における保船対策の徹底
- 漁船の安全操業の徹底

昨年度の安全指導時の様子(福井)

(2) 警戒事項

船内における暴力、窃盗等の犯罪の未然防止を徹底

旅客船、カーフェリー及び旅客ターミナルを対象としたテロ警戒の徹底

4. 参考

各海上保安部署において、年末年始特別警戒・安全指導の実施に併せて出動式を行う際には、実施日時及び内容の詳細を各海上保安部署から別途ご案内する予定です。

平成30年度 年末年始特別警戒及び安全指導
実施期間中における管内各海上保安部署の活動予定

平成30年11月28日時点における管内各海上保安部署の活動予定は以下のとおりです。

なお、詳細については、別途各海上保安部署又は各運輸支局から広報によりお知らせします。

敦賀海上保安部

平成30年12月中旬：カーフェリー安全総点検

平成30年12月下旬：新日本海フェリーターミナル警戒・舷門警戒

小浜海上保安署

平成30年12月11日：「蘇洞門（そとも）めぐり遊覧船」安全総点検

舞鶴海上保安部

平成30年12月10日：新日本海フェリーに対する安全総点検

平成30年12月21日：新日本海フェリーターミナル警戒・舷門警戒

宮津海上保安署

平成30年12月13日：「天橋立観光船」安全総点検

境海上保安部

平成30年12月10日：隠岐汽船フェリー安全総点検

隠岐汽船フェリーターミナル警戒・舷門警戒

平成30年12月21日：DBS フェリーターミナル警戒・舷門警戒

平成30年12月28日：DBS フェリーターミナル警戒・舷門警戒

平成31年 1月 4日：隠岐汽船フェリー警乗

隠岐海上保安署

平成30年12月28日：隠岐汽船フェリーターミナル警戒・舷門警戒

平成31年 1月 4日：隠岐汽船フェリーターミナル警戒・舷門警戒

- 1 上記のほか、管内各海上保安部署において、漁協や旅客船事業者のほか、遊漁船や漁船等に対する安全指導を実施予定です。
- 2 新たに旅客船等の安全総点検、警乗のほか、出動式を実施する際は、別途広報によりお知らせします。



【問合せ先】

第八管区海上保安本部
警備救難部警備課
酒井 敬・棚町 公和
TEL 0773-76-4100(内線 3110・3112)

平成30年11月26日
第八管区海上保安本部

旅客航路事業者による自主警備に係るセミナーの開催 ～ 乗客・乗員の安全安心のために～

旅客船内における暴漢等への対処に備えた旅客航路事業者による自主警備のレベルアップを目的として、今年度2回目の「旅客航路事業者による自主警備に係るセミナー」を、島根・鳥取県旅客船協会事務局である隠岐汽船株式会社と協力して開催します。

旅客船内における自主警備の必要性や、乗客及び乗員の安全確保のために必要な知識・技術等にかかる意見交換等を行います。

【開催日時】

平成30年12月3日(月)午後7時15分～

【開催場所】

島根県隠岐郡隠岐の島町中町
隠岐汽船株式会社 本社会議室

【参加者】

第八管区海上保安本部
島根・鳥取県旅客船協会参加各社
総合警備保障株式会社

【内容】

旅客船内における自主警備の必要性
危害防止対策資器材の取扱い
船舶内の安全対策





問合せ先

第八管区海上保安本部

警備救難部 環境防災課

藤井 智広・根占 裕太

TEL 0773-76-4100 (内 3311・3313)

平成 30 年 11 月 29 日

第八管区海上保安本部

海上保安制度創設 70 周年記念

第 19 回「未来に残そう青い海・図画コンクール」

第八管区海上保安本部表彰式及び展示会開催

海上保安制度創設 70 周年記念第 19 回「未来に残そう青い海・図画コンクール」の海上保安庁の審査会における、海上保安協会会長賞受賞者及び同コンクールの第八管区の審査会における受賞者に対する表彰式を以下のとおり当本部において開催します。

また、同受賞作品に係る展示会を以下のとおり開催します。

1 表彰式開催日時・場所

(1) 開催日時

平成 30 年 12 月 2 日 (日) 午前 10 時 10 分から

(2) 開催場所

舞鶴港湾合同庁舎 4 階

第八管区海上保安本部長室

2 表彰式出席者

(1) 海上保安庁

海上保安協会会長賞

小学生高学年の部 寄友 大毅 (よりとも だいき) さん
京都府 京都市立西院小学校 6 年生

(2) 第八管区

① 第八管区海上保安本部長賞

小学生高学年の部 米田 まおか (よねだ まおか) さん
兵庫県 豊岡市立八条小学校 5 年生

中学生の部 高橋 孝輝 (たかはし こうき) さん
島根県 松江市立宍道中学校 3 年生

② 海上保安協会舞鶴地方本部長賞

小学生低学年の部 山中 歌歩 (やまなか かほ) さん
兵庫県 新温泉町立浜坂北小学校 3 年生

小学生高学年の部 藤田 このか (ふじた このか) さん
福井県 坂井市立雄島小学校 6 年生

中学生の部 勝部 琴葉 (かつべ ことば) さん
京都府 舞鶴市立白糸中学校 1 年生

3 展示会開催日時・場所

(1) 開催日

平成30年12月22日(土)～24日(月)

(2) 開催場所

道の駅京丹波味夢の里

京都府船井郡京丹波町曾根深シノ65-1

(3) 展示作品

受賞作品7点

(上記表彰式出席者の作品6点のほか、表彰式欠席者の作品1点)

第八管区海上保安本部長賞

小学生低学年の部 石森 陽輝(いしもり はるき)さん

島根県 安来市社日小学校3年生



展示作品

海上保安協会会長賞



【小学生高学年の部】

寄友 大毅（よりとも だいき）さん
京都府 京都市立西院小学校 6年生

第八管区海上保安本部長賞受賞作品



【小学生低学年の部】

石森 陽輝（いしもり はるき）さん
島根県 安来市立社日小学校 3年生



【小学生高学年の部】

米田 まおか（よねだ まおか）さん
兵庫県 豊岡市立八条小学校 5年生



【中学生の部】

高橋 孝希（たかはし こうき）さん
島根県 松江市立宍道中学校 3年生

海上保安協会舞鶴地方本部長賞受賞作品



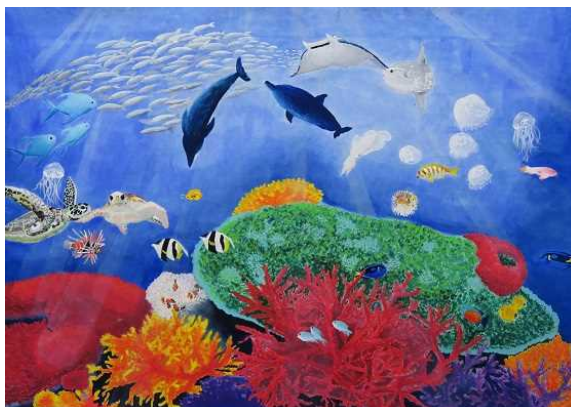
【小学生低学年の部】

山中 歌歩（やまなか かほ）さん
兵庫県 新温泉町立浜坂北小学校 3年生



【小学生高学年の部】

藤田 このか（ふじた このか）さん
福井県 坂井市立雄島小学校 6年生



【中学生の部】

勝部 琴葉（かつべ ことは）さん
京都府 舞鶴市立白糸中学校 1年生



【問合せ先】

第八管区海上保安本部
交通部航行安全課 谷岡 敦
電話 0773-76-4100 (内線 2620)

平成 30 年 11 月 29 日
第八管区海上保安本部

走錨海難を防ぐために

第八管区海上保安本部では、冬季における発達した低気圧の影響等に起因する走錨海難の未然防止について海事関係者等に注意喚起を図っていきます。

平成 30 年 9 月 4 日、台風 21 号の接近により関西国際空港周辺海域に荒天避泊中のタンカーが走錨して同空港連絡橋に衝突したことにより、同空港へのアクセスが遮断され、人流・物流の停滞が発生し、社会的な反響が大きなものとなりました。

当管区においても台風 20 号が通過する際、荒天避泊中のセメント船が走錨し、定置網に乗揚げ海難が発生しており、今後、冬の日本海では発達した低気圧の影響により、海上模様が悪化し走錨海難が発生するリスクが高まることを踏まえ、同種海難の未然防止のため、船舶運航者（日本船・外国船）、代理店及び日本内航海運組合連合会、日本船長協会などの海事関係団体への走錨防止啓発用リーフレット（日本語、英語、中国語、韓国語）を配布し、注意喚起を図っていきます。

その他の取組

→ 第八管区海上保安本部では、現在 AIS^{*}を活用して、AIS メッセージによる気象などの各種情報提供や設定した走錨監視サークルから外れた船舶に対する VHF 等の手段を用いた個別の注意喚起を実施しています。

*** AIS: Automatic Identification System (船舶自動識別装置)**

AIS とは、船舶の識別符号、種類、位置、針路、速力、航海の状態及びその他の安全に関する情報を自動的に VHF 帯電波で送受信し、船舶局相互間及び船舶局と陸上の航行援助施設等との間で情報の交換を行うシステムのことです。

走錨防止のポイント

避泊する場合は、次の走錨対策の徹底がポイント

- 良好な錨地の選定
- 陸岸、障害物、他船等との十分な距離を保つ
- 気象・海象情報の入手と常時確認
- 十分な見張り（自船および他船の走錨監視等）
- 国際 VHF (CH16) の常時聴守

定置網に乗揚げたセメント船



走錨に注意!

荒天により走錨が発生した場合、沿岸への乗揚げや漁業施設、橋脚などの構造物へ衝突し、大災害に発展することがあります。

避泊する船舶は、次のことを確認し、走錨事故を防止しましょう。

走錨防止対策

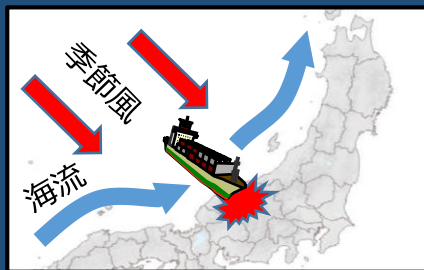


油の大量流出やライフラインがSTOPするなど大災害に発展します!

- ・ 良好な錨地の選定
- ・ 陸岸、障害物、他船等との十分な距離を保つ
- ・ 気象・海象情報の入手と常時確認
- ・ 十分な見張り
(自船および他船の走錨監視等)
- ・ 国際VHF (CH16) の常時聴守

～冬の日本海の特徴～

冬の日本海は、北西寄りの強い季節風及び海流の影響から、漂流すれば、非常に短時間で陸岸方向へ圧流されます。特に、コンテナ船のような風圧面積の大きい船舶は、乗揚げの危険性が高まることから、救助船の到着が一刻を争う緊急事態となります。



海のもしもは118番

第八管区海上保安本部
京都府舞鶴市字下福井901

※八管区における走錨に伴う海難事例

乗揚(走錨)海難

発生時刻:平成 30 年8月 24 日 午前1時 20 分頃

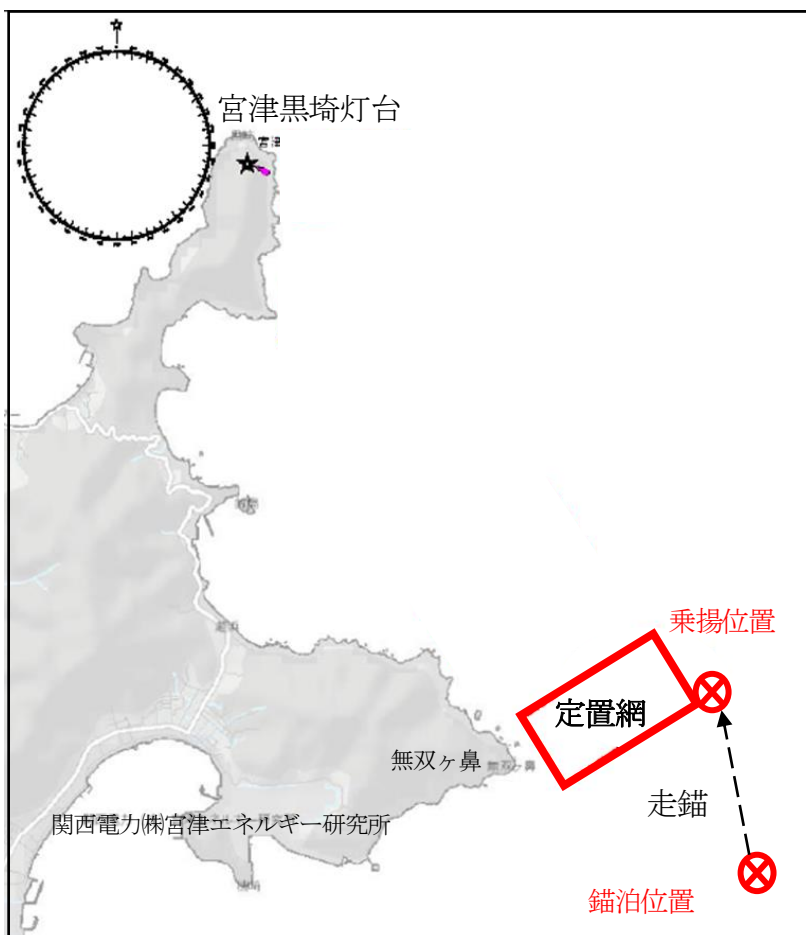
発生場所:京都府宮津市無双ヶ鼻沖合

事故船舶:インドネシア船籍セメント船(16 名乗組)

事故船舶の要目:総トン数 2,630トン、全長 91 メートル、積荷なし(空船)

気象・海象

天候:雨、風向:東南東、風速:22m/s(最大瞬間風速 32.1m/s:宮津地方地域気象観測所)



事故船舶は、台風 20 号の接近に伴い、栗田湾にて荒天避泊を行っていたところ、台風通過による南南東の風により、錨泊した位置から約 2,500 メートル離れた定置網まで圧流され、操船不能となり、同定置網に乗揚げました。

【参考】

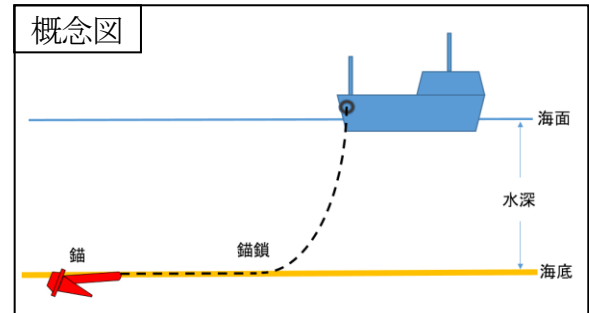
AIS 運用官は、走錨を確認してから定置網に乗揚げるまでの間、国際 VHF で定置網との距離を9回に亘って情報提供しました。

錨泊船の走錨について

(1) 錨泊の概念

① 錨泊とは

はちゆうりよく
把駐力(※1)を利用し、船舶が風浪に
対抗して船位を保持するために錨を海中
に下ろす行為です。



※1 把駐力とは

錨を下ろした(投錨)とき、錨が海底をしっかりと掴む力と錨と船体を繋ぐ錨鎖(アンカーチェーン)が海底に横たわったときに、錨鎖と海底に生じる摩擦抵抗の和を言います。十分な把駐力を得るためには、錨が海底をかき、錨鎖を水深に応じて伸出させる必要がありますが、強風などにより、圧流され始めると、錨は爪が上向きに反転し、海底をかくことができず、把駐力を得られない状態になることがあります。

文献(※2)によれば、錨泊する際の錨鎖の伸出量については、次の長さが目安とされています。

通常の錨泊 : 水深の3倍+90m

荒天時の錨泊 : 水深の4倍+145m

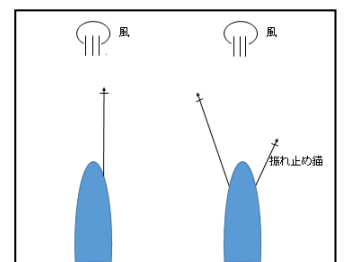
※2 「操船論」(初版、岩井聡著、海文堂出版(株)、昭和42年発行)

② 錨泊の種類

錨泊の種類は次のとおりです。

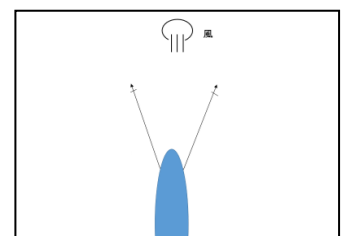
ア たんびようはく 単錨泊

船首両舷いずれか一方のアンカーを使用するもので、最も頻度の高い錨泊法です。荒天のとき船の振り止めを抑えるため他舷のアンカーを振れ止め用として投錨され、振れ止めアンカーは係駐の主力とならないことから単錨泊に属します。



イ そうびようはく 双錨泊

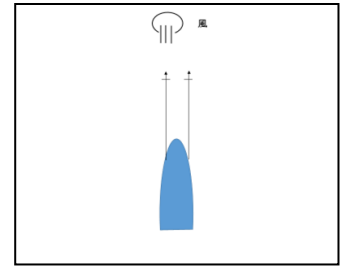
港内のように錨泊する水面の広さに制限があるときは、両舷船首のアンカーを使用する錨泊方法です。第1錨と第2錨は適当な間隔において投錨します。



ウ 二錨泊^{にびょうはく}

両舷アンカーを同時に投下し、一方向から強烈な風浪、あるいは河川のような強い流れの外力に対抗するときに行われる錨泊方法で、投錨時の操船要領の違いから双錨泊と区別されています。

(参考文献) 操船通論 八訂版 (本田啓之輔、成山堂)



各錨泊の長所と短所については下表のとおりです。

錨泊の種類と長所短所

種類	泊地	錨鎖と錨の絡み	錨鎖同士の絡み	作業	投揚錨時間
単錨泊	広い場所	おそれあり	なし	容易	短
双錨泊	狭くても可	おそれ小	おそれあり	複雑	長
二錨泊	比較的狭い	おそれ大	おそれ大	容易	短

③ 錨地選定基準

錨地を選定するうえでの基準は下表のとおりです。

項目	良い	悪い	備考
遮蔽度	閉囲された場所	開放された場所	風上側に陸岸があることで、静穏度が保たれる
水深	浅い	深い	15m以上 40m以下 (30m以下が理想)
錨地の広さ	広い	狭い	大型船同士は 1 k m 以上が望ましい
海底の傾斜	穏やか	急	水深が一定であることが望ましい
底質	砂・泥	岩、石	底質が岩、石の場合は、錨・錨鎖が海底を滑るため不向き
海底の状況	海底に障害物が無い	捨てられた錨鎖や網などの障害物がある	揚錨作業が著しく困難となる

④ 走錨を知ったときの処置

- ア 直ちに機関を使って圧流されるのを防ぐ。
- イ 直ちに揚錨して安全な錨地に転びようする。
- ウ 事態が急迫した揚びょうが間に合わないときは、捨てよう (錨鎖を切断すること) をして緊急避難する。

(2) 走錨海難の防止に向けた八管区取組

- ① 走錨海難防止に主眼を置いた啓発用リーフレット (別紙) を配布します。
- ② AIS による走錨監視で確認した走錨するおそれがある船舶に対し、VHF 等の手段で、船位認等の走錨防止対策について、個々の船舶に対して情報提供を実施します。
- ③ 定置網等の海上に設置された固定式漁具を避けた錨泊を強力に指導します。

【問合せ先】

海上保安学校 事務部
総務課長 菅原 浩嗣
TEL 0773-62-3520



平成30年11月29日
海上保安学校

**海上保安学校早朝訓練の実施について
～若人のパワー全開！寒さを皆で乗り越えろ！～**

平成30年12月13日～21日までの間、海上保安学校学生約560人が心身の錬磨及び連帯意識の高揚を図ることを目的として、下記のとおり早朝訓練を実施いたします。

記

- 1 日 時 平成30年12月13日(木)～21日(金)
午前5時40分から午前7時まで
- 2 場 所 海上保安学校
- 3 訓練種目
 - ・端艇
 - ・団体持久走
 - ・武道(柔道、剣道)
 - ・制圧
- 4 その他
取材対象日は12月13日(木)です。
訓練初日は、午前5時40分から木室 貴行(きむろ たかゆき)教育訓練部長が学生に対し訓示を行います。
取材を希望される方は、12月12日(火)午後5時までに海上保安学校総務課庶務係(担当 永井)迄連絡願います。
取材時には報道機関各社腕章の確実な着用をお願いします。

端艇



海上保安学校前面海域と蛇島を往復する約3キロのコースを、学生達は計6艇に分乗して訓練に臨みます。

団体持久走



学生達は、お互いに掛け声を掛け合いながら、当校敷地内のランニングコース(1周約1キロメートル)を2列縦隊で7周以上走ります。



講堂では剣道を、講堂二階武道場では柔道の基本稽古及び応用稽古を行います。



体育館では、制圧訓練を行います。
はじめに体さばきや受けの稽古をした後、防具を身に着けての打ち込みや、蹴りの稽古を行います。